

諏訪地方の 経済概況 速報

2015.06

2015年5月末調査／2015年6月26日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫

SUWA SHINKIN BANK

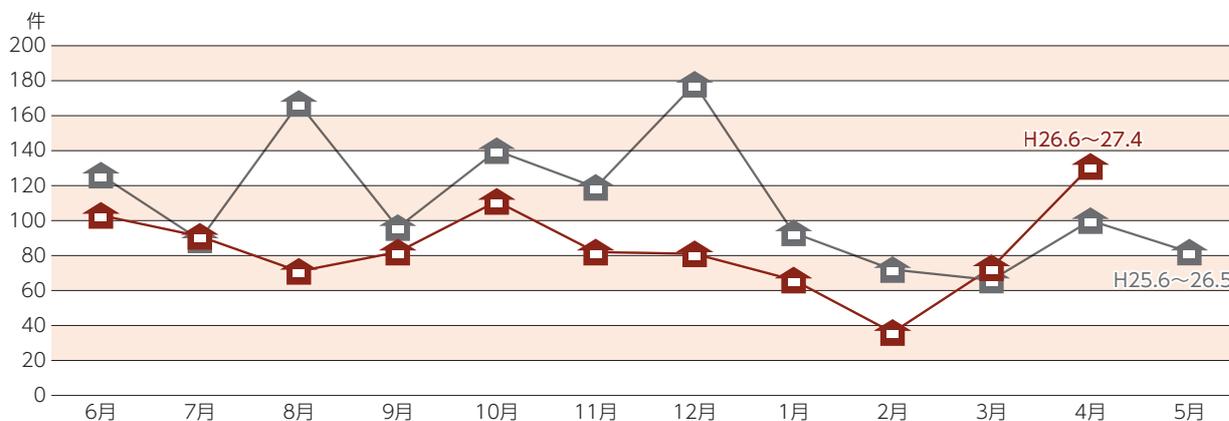
諏訪地方の概況

5月の日本経済は株価が10日間続伸し、為替は1ドル124円台まで進み、円安が輸出企業の追い風となる一方で、物価上昇が家計や企業に響きやすい状況が続いた。諏訪地方は、5月の平均気温が戦後最も高く、ゴールデンウィークが天候に恵まれたこともあって、観光業は総体的に好調に推移した。製造業は、好調だった自動車関連に頭打ち感があるが、設備投資の動きもあり、総体的には堅調に推移した。商業は物価上昇で家計の購買力が伸び悩み、建設業は手持ち工事が減少傾向となっている。雇用情勢は一服感がある。諏訪地方の総人口は、初めて20万人を割り込んだ昨年4月から、さらに減少傾向が続き、高齢化率が上昇している。

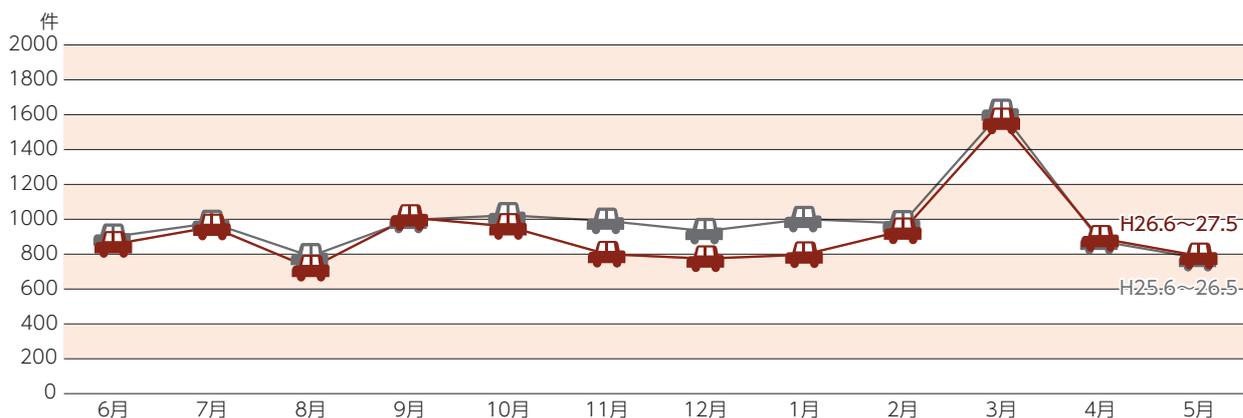
(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

		実数	前年同期比	
有効求人倍率【4月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.11倍	0.11ポイント	
手形交換高【5月】(諏訪手形交換所扱)	枚数	4,502枚	△359枚	
	金額	5,669百万円	△85百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	△5枚
	金額	0千円	△792千円	
電力使用量【5月】(中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	47,831 MWh	△4.0%	
	高圧電力計	85,148 MWh	△2.5%	
	合計	132,979 MWh	△3.1%	
車庫証明取扱件数【5月】(諏訪地方合計)		790件	1.7%	
新設住宅着工戸数【H27年4月】(諏訪管内)		131戸	1.3%	

■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



■車庫証明件数の推移



製造業

「自動車関連が頭打ち。総体的には堅調」

輸送用機械関連は、自動車部品がメーカーによって差があり、取引先の状況で受注環境に差があるが、総体的には頭打ちの状態が続き、回復の兆しは見えにくい。国内のトラック向けの部品関連は好調を維持している。船外機や重機関連も比較的安定している。工作機械や専用機などの一般機械は、設備投資増加の動きに伴い、省力化機械などで受注が増加傾向となっている。取引先の業績回復に伴う受注増加に対応するため、産業機械やその部品を製造する企業などの一部では、老朽化した施設を更新したり、新たな設備の導入を目指す動きもある。金属製品加工の受注は波があり、先行きが見通せない面もあるが、幅広い分野からの受注が続いている。電気機械は、通信関連機器などで好調な企業があり、海外企業に比べて技術力が評価されている企業もある。精密機械は、レンズ関連の市場が縮小し競合が激化する中で、一部で好調な企業がある。圧力計も好調を維持している。

金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	自動車関連は、国内販売の不振などによる減産があり、影響を受けた。金型は幅広い分野の試作が多く、海外向けなどを中心に堅調に推移している。ただ、主力取引先からの受注が大幅に減少した企業や受注は安定しても単価面が厳しいなど、変化が激しい。先行きにも増加の期待がある反面、不透明感を持つ企業も多い。
一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など	取引先の設備投資増加に伴い、省力化機械などで受注が増加傾向となり、搬送用機械も大手企業の設備投資に安定感があり、堅調に推移している。医療関連機械も安定し、半導体関連の設備受注は実装装置面で動きがある。自動車関連機械は海外向けに動きはあるが、横ばいの状況が続いている。総体的には改善傾向となっており、見積もり数が多く、しばらくフル稼働状態が続く見込みの企業もある。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど	一部情報機器関連で好調が続き、新規見積もりも多い企業がある。電源装置関連でも高位安定な受注状況が続いている。プリンター関連は取引先企業の増産体制に伴い、受注が増加した企業がある。医療機器関連も堅調に推移している。一方で、足元の業況が厳しい企業もあり、取引先や技術力によって格差が見られる。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車関連は国内生産の減少が続き、総体的に動きが鈍くなっている。大手メーカーの状況や技術力によって企業間に差があり、受注が安定している企業の反面、週休を増やした企業もある。海外向けでは受注が増加した企業がある。自動車の電装化に伴い、コンデンサー部品でも増産の動きがある。重機関連の部品加工は堅調。船外機は米国景気がけん引し、部品の取扱量（種類）が増加し、今後も安定推移の見込みとなっている。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	国内では監視カメラや研究機関向けレーザー用レンズ、自動車のバックビューモニターなどの車載レンズが堅調だが、高難度加工に進出する企業が増え、競合が激化している。取引先企業の業況改善に伴い、カメラの高級機種関連の受注が増加した企業もある。また、一部好調な地元のレンズメーカーがけん引して、関連企業の受注が増加する動きもある。空圧計や医療用圧力計関連の受注は引き続き安定し、フル稼働が続く企業がある。
製造業全般	衣料品製造は例年より好調で、特に高級品の受注が増加している。3月で春夏物が終了し、6月までは端境期。7月から秋冬物の生産が始まる。寒天商品製造は駆け込み需要の反動があった昨年と比べ、今年は平準化している。

商 業

「気温上昇で夏物関連商品に動き」

好天と気温の上昇で、飲料や夏物衣料などが好調だった。店舗によって業況は異なるものの、ゴールデンウィークを中心に前年同月より売上を伸ばした店舗が多い。一方で、人材確保に困難さを感じる声が増えている。自動車販売は、諏訪地方の5月の車庫証明件数が790件で、前年同月比13件、1.7%増加した。わずかながら、消費増税の影響を受けていた前年同月より2ヶ月連続の増加となった。

衣料	気温の上昇とともに、カジュアルなポロシャツ類など夏物衣料が好調になった。結婚シーズンの6月に向けた礼服類にも動きがあった。
食料品	ビール、飲料水関連が好調だった。乳製品が値上がりし、生鮮野菜は例年よりやや高値だったが、影響は少なかったと見られる。
家電製品	エアコンが好調。太陽光発電システムは低調で前年比大幅減少している。
自動車	県内の5月の新車新規登録台数は、登録車が2ヶ月連続で増加し、軽自動車は5ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比275台減少(△3.5%)の7,579台で、5ヶ月連続で減少した。
ホームセンター	園芸品のピークで花や野菜苗が好調だった。雨が少ないことで、ホースやジョウロなどの散水用品が前年以上の売れ行きを見せた。

観光・サービス業

「天候に恵まれ、GWの入り込み増加」

諏訪地方の5月の天候は、1日の最高気温が25度以上だった日が11日間あり、月降水量は戦後2番目の少なさとなり、4月下旬から長期にわたって高温傾向が続いた。好天に恵まれた上、ゴールデンウィークの日並びが良かったことで、高原の屋外施設では観光客の入り込みが多く、前年同月に比べて売上を伸ばした施設が多い。富士見方面の施設も来場者が大幅に伸びている。また、上諏訪温泉は、円安や人気コースの立山黒部アルペンルートが好調要因となって、海外からの旅行客の増加傾向が続いている。

上諏訪温泉	宿泊客数は前年同月比で100%～120%台で、ほとんどの施設が前年に比べて売上が増加した。ゴールデンウィークは、個人客を中心に満館だった施設が多い。善光寺御開帳関連の宿泊は、前回の御開帳時と比較して低調だった。
蓼科・白樺湖・車山等	ゴールデンウィークの入り込みが好調だったことから、総体の売上に貢献し前年同月を上回った施設が多い。施設整備がイメージアップにつながったり、花の写真ツアーなどが人気だった。バイクツーリング客の宿泊の引き合いも多い。富士見方面では学生の合宿なども好調に推移した。
下諏訪温泉	屋内施設は前年より低調だったものの、ゴールデンウィークは総体的に宿泊客、日帰り客とも好調だった。諏訪湖でのレガッタも集客につながっている。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は約59千人。前年同月比では約5千人、8.5%増加した。

建設業

「総体的な工事量減少で、一部先行き不透明感も」

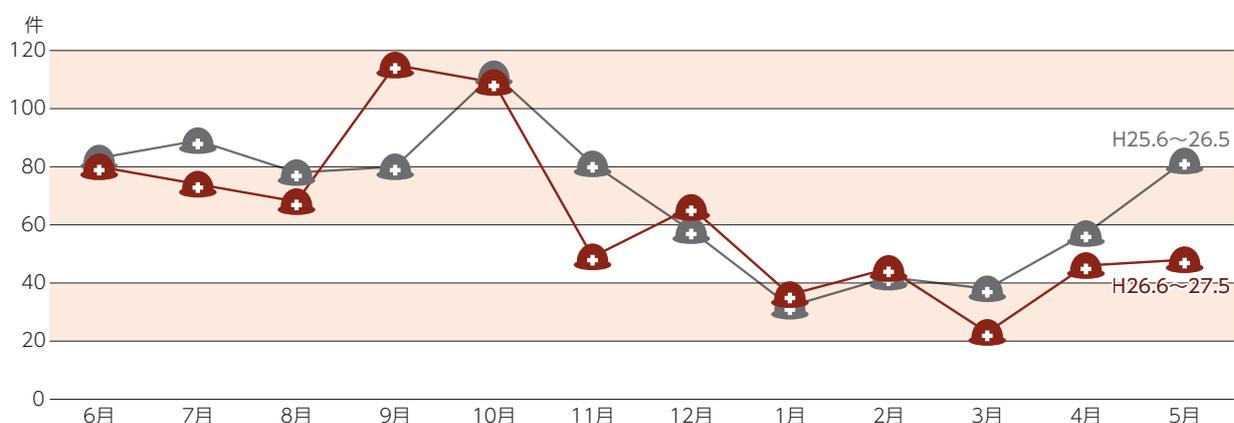
5月の市町村からの受注工事は、合計48件、925百万円となった。前年同月に比べ、件数は34件減少し、契約金額は325百万円増加した。一方、国県関係の4、5月の累計公共工事(地元業者受注分)は前年同期比で件数、契約金額ともやや増加したが、例年同様、年度初旬は低調なスタートとなっている。民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数が131戸で、分譲が増加し、前年同月比31戸の増加(31.0%)となった。大口案件を確保する企業がある一方で、手持ち工事が減少し、新築、リフォームとも案件が減少しているとする企業がある。

公共工事	<p>5月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所2件、その他土木・建築工事1件の合計3件で、契約金額は181百万円だった。平成27年4月～5月の累計は7件、243百万円となり、前年同期の累計比で件数は2件増加し、契約金額も86百万円増加(54.5%)した。</p> <p>市町村からの5月の受注工事は、原村の保健センター新築工事があり、件数は前年から減少したものの、契約金額では増加した。建築工事4件524百万円、土木工事及び下水道工事30件、295百万円、その他工事14件106百万円の合計48件925百万円となった。</p>
民間工事	<p>諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は25戸増加の86戸、「貸家」は31戸減少の2戸、「分譲」は39戸増加の43戸となった。夏場に向けて不透明感を感じる企業がある。</p> <p>長野県内の4月の新設住宅着工戸数は929戸で、前年同月比6.9%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が621戸で14.6%増加、「貸家」は188戸で49.5%減少、「給与」は0戸で同数、「分譲」は120戸で50.0%増加した。</p>

■諏訪地方の4月の新設住宅着工状況

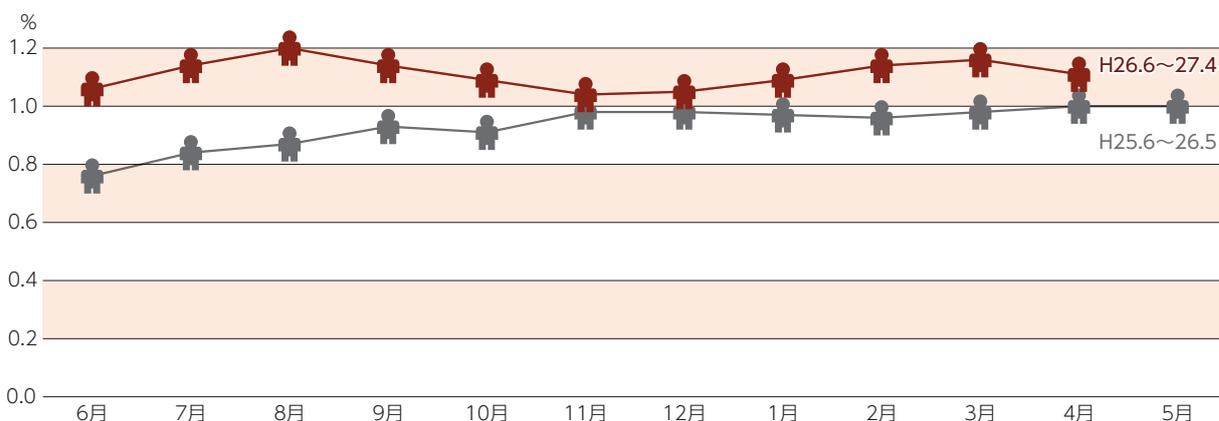
区分 市郡名	合計 戸数	前 年	利用関係別								構造別			
			持家	前年	貸家	前年	給与	前年	分譲	前年	木造	前年	非木造	前年
岡谷市	16	29	16	15	0	13	0	0	0	1	16	25	0	4
諏訪市	20	10	19	8	0	0	0	0	1	2	17	10	3	0
茅野市	69	39	26	17	2	20	0	1	41	1	26	38	43	1
諏訪郡	26	22	25	21	0	0	0	1	1	0	25	21	1	1
合計	131	100	86	61	2	33	0	2	43	4	84	94	47	6

■公共工事の推移(市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く)



諏訪地方の4月の有効求人倍率は、前年同月を0.11ポイント上回り、前月を0.05ポイント下回る1.11倍となった。1倍台の維持は13ヶ月連続、前年同月を上回るのは23ヶ月連続となった。長野県平均は1.24倍で、全国平均は1.17倍。長野県は、約23年ぶりの高い水準を維持している全国を10ヶ月連続で上回っている。諏訪地方の新規求人(全数)は1,559人で、前年同月比184人減少(△10.6%)し一服感が見られた。要因別では「人員不足」が増加し、「欠員補充」「業務量増大」「創業・新分野展開」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「その他サービス業」で増加し、「生活関連サービス・娯楽業」「飲食店・宿泊業」で減少した。新規求職者数は1,036人で、前年同月比152人減少(△12.8%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は74人で、前年同月比15人増加し、前月比でも12人増加した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 為替変動で潤うのは親会社のみで、単価、コストの見直しは末端の中小企業までは行われず、中小企業に変化はない(輸送関連機械製造業)。
- 好決算の大手企業は設備投資を海外で行うことが多く、国内下請けへの効果は少ない(輸送関連機械製造業)。
- 休日返上で対応しているが、安易に人員は増やさない。先行き不透明の状況で固定費の増加は避けたい(金属製品製造業)。
- 消費者の節約意識は、服にお金をかけるまでには回復していない(衣料品販売業)。
- パートやアルバイトの人材確保が大変(小売店、飲食店)。
- 一時は公共施設の耐震工事ぐらいで、工場関係の工事は全くなかったが、近ごろは工場の建て替えや新築が出てきている(建設業)。
- 建築業に携わる人数が減少しており、大口工事でいざという時に人が集まりにくい(建設業)。
- トレッキングツアーは観光バスを利用する団体が多いが、バス運賃が上がったり、運転手の規制強化で、遠方からの集客が心配(観光業)。
- 夏場のバンガローは、林間学校をする学校が年々減少し、予約は低調気味(観光業)。

— 2015年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

長野県経済は、生産の一部になお弱さを残しつつも、緩やかに回復しつつある

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準ながら緩やかな減少傾向となっている一方、住宅投資は底堅く推移している。この間、設備投資は緩やかに増加している。また、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は一部になお弱さを残しつつも、緩やかに回復している。このほか、雇用・所得は、着実な改善が続いている。

生産

IT関連では、半導体関連および電子部品は、自動車関連に弱さが残るものの、スマートフォン向け需要の好調さを受けて、生産は改善テンポの鈍化した状態から脱しつつある。

自動車関連では、国内向けで一部に弱さがみられるものの、北米向け等の海外需要の堅調さを背景に、生産は高めの水準で横ばい圏内の動きが続いている。

機械・同関連部品等では、バルブは、プラント向け需要が増加していることから、生産は足もとでは増加している。成形機は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。工作機械は、中小企業の設備投資姿勢の慎重さが後退しているほか、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。計器は、自動車向け等の需要が増加しつつあることから、生産は持ち直している。

飲料は、弱い動きもみられるが、緩やかに持ち直している。

個人消費

県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）をみると、4月は一部に弱さがみられるものの、消費者マインドの持ち直しを背景に緩やかに回復しつつある。

家電販売は、4月は一部に持ち直しの動きがみられ、全体としては前年を上回った。

自動車販売は、5月は前年を下回った。

公共・住宅投資

公共工事請負額をみると、4月は県、独立行政法人等の発注分が増加したものの、国、市町村の発注分が減少したことから、全体では前年を下回った。

住宅着工戸数をみると、4月は持家、分譲が増加したものの、貸家が減少したことから、全体では前年を下回った。

雇用・所得

有効求人倍率をみると、4月は新規求人数が増加していることから、回復傾向にある。所得面では、3月は一人当り名目賃金および常用雇用者数が前年を上回ったことから、雇用者所得は前年を上回った。

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、4月は光熱・水道や食料、住居が上昇したことを主因に、前年を上回っている。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>